

平成25年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

3 柳井津町人小田氏の旅日記（二）

―道中要用諸控当座帳・万於保恵日記―

佛ヶ付毛（おのり）の山
吹あしの崎（おのり）の崎
しとあり面白き
様仙伏（おのり）の崎
一宮の敷し（おのり）の崎
△（おのり）の崎
本宮の敷し（おのり）の崎
まゝの敷し（おのり）の崎
まゝの敷し（おのり）の崎
まゝの敷し（おのり）の崎

△（おのり）の崎
△（おのり）の崎
△（おのり）の崎
△（おのり）の崎
△（おのり）の崎
△（おのり）の崎
△（おのり）の崎
△（おのり）の崎
△（おのり）の崎
△（おのり）の崎

ヤカ子宿松を
今日ウキカ
あつた

△今ヨカカ

城

道

坂

長崎

寺

引

ち地

凡

今

△

福

香

以

興

寺

山

山宗福寺

けきあゝ大なる下
徳意を社法の特
以不細見お
花九五三
百々和子艘

△口へ所へる中書

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

△あゝ口能なる

さうして余りしむれた
河童も縁以母河を御
たよ！ **ぬ**よのむ村
まきとらりし木月村
をさめあてふ家徳はた
川渡ししアまきとら
はたはたのむ村
み下申る村 疎の原
み下まきとらりし
むら 川渡したまき

話の面白きとて
まきとら元ち方けた
再々まきとら下りし
町まきとら今話のた
者 **まきとら** **むら**
△ **まきとら** **むら**
まきとら **むら**
中島もまきとら
むら **むら**
まきとら **むら**
まきとら **むら**

